

2012年6月18日

日本板硝子株式会社

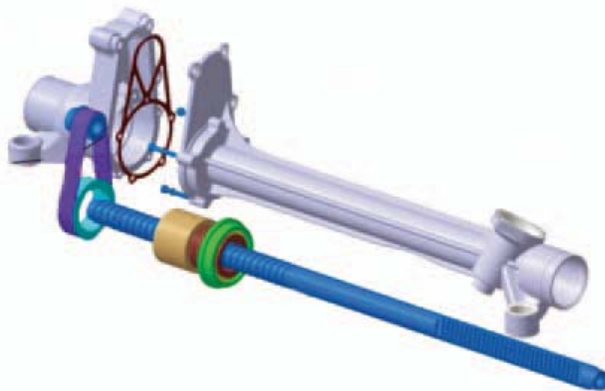
## 当社グラスコードが先進ステアリングシステムを支えています

自動車エンジンに使用されている当社のタイミングベルト用ガラス繊維コード（商品名：グラスコード）が、燃費性能の向上と CO2 排出量の削減効果のある最新の電動アシストステアリングに採用されております。

最新の電動アシストステアリング（EPAS）は、ドイツ・パワー・トランスミッション社がティッセングループ社と共同で開発した技術です。常時エンジン負荷がかかる標準的な油圧システムとは異なり、EPAS はハンドルの操作時のみに作動するため、燃費が約 3～4%節約され、それに伴って CO2 の排出量が抑制されます。

EPAS の駆動ベルトには当社グループの NGF ヨーロッパ社で製造する最薄の 0.2 ミリ厚ゴムコードが使用されています。当社のグラスコードが持つ高度な弾性と、ゴムベルトにらせん状に巻きつけて使用されるため高い密着性という要求に応える当社製 RFL ラテックス塗料のコーティングが評価されたことで採用いただきました。

EPAS はすでに欧州市場で約 200 万台の車両に採用されています。今後、欧州市場と北米市場での採用の拡大が見込まれています。このようなシステムを搭載した自動車が世界の主流となり、当社のグラスコードの活躍の場も、さらに広がることが期待されます。



電動アシストステアリング(EPAS)図

以上